

SSWにどの程度期待しているかがわかりました！

『67人アンケート』結果

平成23年度から巡回型による二名の『SSW』を配置して二年目を終えようとしています。二名のスクールソーシャルワーカー（SSWr）の役割は学校現場でどのように映ったのかを調べました。学校現場では、SSWの役割に直接関わっている方々67人にご協力いただきました。その結果、ほとんどの項目で『期待度100%』に近い数値結果でした。今後の支援活動や教育の施策に反映したいと思います。ありがとうございました。

2013/03/07 稚内市教育相談所

SSWの役割 設問に対して該当する評価項目に○印をつけてください。	a とても期待が高まった	b やや期待が高まった	c あまり期待しない	d まったく期待しない	e わからない
	5	4	3	2	1
1. 子どもと個別面接をして子どもの相談を受ける	57 (85%)	10 (15%)			
2. 親と学校との関係をつなぐ	64 (95%)	3 (5%)			
3. 福祉機関・教育機関と学校との連携をつよめる	62 (92%)	5 (5%)			
4. 先生たちと一緒に子どもや親をサポートする	65 (97%)	2 (3%)			
5. ケース会議(学内で特定の子供に対する支援方法について話し合う)に参加して対策内容を豊かにする	57 (85%)	9 (13%)			1 (2%)
6. 教員に対して福祉的な視点(家庭環境・地域環境)からの支援方法についてアドバイスする	57 (85%)	10 (15%)			
7. 教員や親に対して研修を行う (例:教育相談、カウンセリングなど)	48 (72%)	12 (18%)			7 (10%)

- ◆ 『教員や親に対して研修を行う』の項目では『わからない』の項目が全体の10%を占めました。学校現場では、こうした場面がつけられていないために解答に苦慮したものと思われます。
- ◆ この項目以外は『とても期待が高まった』(87%)、『やや期待が高まった』(13%)、合わせて100%の期待度といえます。二人のSSWの役割発揮を軸に教育相談スタッフの全市的視野での連携、学校現場のネットワーク機能の充実などの成果によると思わ

れます。一年間、お疲れ様でした。

SWにどの程度期待しているかがわかりました！

『青年教員 14 人アンケート』結果

『その 1』アンケートは、SSWの役割に直接関わっている方々67人にご協力いただきましたが、『その 2』アンケートは直接関わっていない先生たち14人にご協力いただき期待度を調査しました。その結果、ほとんどの項目で『期待度 100%』に近い数値結果でした。今後の支援活動や教育の施策に反映したいと思います。ありがとうございました。

2013/03/07 稚内市教育相談所

SSW の 役 割 設問に対して該当する評価項目に○印をつけてください。	a	b	c	d	e
	とても期待が高まった 5	やや期待が高まった 4	あまり期待しない 3	まったく期待しない 2	わからない 1
5. 子どもと個別面接をして子どもの相談を受ける	13 (93%)	1 (7%)			
6. 親と学校との関係をつなぐ	13 (93%)	1 (7%)			
7. 福祉機関・教育機関と学校との連携をつよめる	12 (85%)	1 (7.5%)			1 (7.5%)
8. 先生たちと一緒に子どもや親をサポートする	14 (100%)				
5. ケース会議(学内で特定の子供に対する支援方法について話し合う)に参加して対策内容を豊かにする	12 (85%)	1 (7.5%)			1 (7.5%)
6. 教員に対して福祉的な視点(家庭環境・地域環境)からの支援方法についてアドバイスする	11 (79%)	3 (21%)			
7. 教員や親に対して研修を行う (例:教育相談、カウンセリングなど)	11 (79%)	3 (21%)			

- ◆ 意外な結果がわかりました。『教員や親に対して研修を行う』の期待度は 100%を占めています。『その 1』では 88%の期待度にもかかわらず青年教師の期待度の方が強い数値になりました。教職員集団の中でも若年層にはより強い期待度が生まれているといえます。

- ◆ この項目以外では『福祉機関・教育機関と学校との連携』・『ケース会議への参加』について「わからない」と解答しているのは『その1』にない特徴であるといえます。
- ◆ 『青年教員14人アンケート』にご協力いただいた東小学校の皆様にお礼申し上げます。

SWにどの程度期待しているかがわかりました！

『手書きメッセージ』の紹介

アンケート『その1』・アンケート『その2』には、手書きの欄は設けませんでした。にもかかわらず、『手書きのメッセージ』が9人の先生から寄せられました。

そのすべてが期待と感謝・激励の内容でした。紹介いたします。

今後の支援活動や教育の施策に反映したいと思います。

本当にありがとうございました。

2013/03/07 稚内市教育相談所

-
- ◆ 現場でのSSW効果は絶大！ 次年度も継続・拡充を。
 - ◆ SSWがいなければ「子どもたちのために」とおもってもできなかったことがたくさんあると思います。子どもたちの成長発達と一緒に支えてくださるパートナーとして引き続きお力を貸していただきますようよろしくお願いいたします。（東小 八木）
 - ◆ SSWには親だけでなく、教員もたくさん相談に乗っていただいています。「子ども一親」「親一教師（学校）」「子ども一教師」の手と手を結んでくださる存在です。いつも感謝の気持ちで一杯です。ほんとうに素敵なお方です。これからもよろしくお願いいたします。
 - ◆ SSWはとても温かい人柄と研修を積まれた確かな実践で、本校の教職員、地域・父母、子どもたちみんなが絶大な信頼を寄せています。先生が来てくださる日をみんな心待ちにしております。本当に感謝しております。ありがとうございました。！
来年も強く要望します。助けられた人もたくさんいます。（私を含めて）
 - ◆ カウンセリングの研修をぜひお願いしたいです。
 - ◆ 本当に助かっています。深謝（七田）
 - ◆ いつも子どもたちのためにありがとうございます。気がついたことを細部まで報告してくれたり、アドバイスをいただけたのは、本当に助かりました。いつも思いますが常勤してもらいたいと強く思います。教師とも、保護者とも違った立場で関わっていただけなのが、私たちにとっても子どもにも保護者にとってもいいなあと思うことがたくさんありました。
たくさんの出来事がある中、いつも丁寧に関わってくださることに深く感謝しています。
 - ◆ 先生と違った立場から保護者を支えていただけることがどれほど心強いかわかりません。学習面、生活面、厳しい現実、課題に直面している子どもたちに温かいまなざしをありがとうございます。
 - ◆ 懇談などで話していただけるとつながりやすくなると思います。